

高温環境で注意する主な医薬品

一般名	主な商品名	記載事項
アトロピン	アトロピン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 抗コリン作用により発汗抑制が起こり、体温調節が困難になるおそれがある。
オキシブチニン	ポラキス	8. 重要な基本的注意 抗コリン作用により発汗抑制が起こり、外部の温度上昇に対する不耐性が生じて、急激に体温が上昇するおそれがあるため、高温環境下で使用する場合は体温の上昇に注意させること。
クロルプロマジン	ウインタミン、コントミン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 体温調節中枢を抑制するため、環境温度に影響されるおそれがある。
ジサイクロミン・乾燥水酸化アルミニウムゲル・酸化マグネシウム配合	レスポリックス	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 本剤中のジサイクロミン塩酸塩の抗コリン作用により発汗が抑制されるおそれがある。
ゾテピン	ロドピン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 高熱反応があらわれることがある。
ゾニサミド	エクセグラン	8. 重要な基本的注意 発汗減少があらわれることがあり、特に夏季に体温が上昇することがあるので、本剤投与中は体温上昇に留意し、このような場合には高温環境下をできるだけ避け、減量又は中止など適切な処置を行うこと。
	トレリーフ	8. 重要な基本的注意 発汗減少があらわれることがあり、特に夏季に体温が上昇することがあるので、本剤投与中は体温上昇に留意し、このような場合には高温環境下をできるだけ避け、適切な処置を行うこと。
チキジウム	チアトン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 汗腺分泌を抑制し、体温調節を障害するおそれがある。
チメピジウム	セスデン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 抗コリン作用により発汗抑制が起こり、体温調節が困難になるおそれがある。
トピラマート	トピナ	8. 重要な基本的注意 発汗減少があらわれることがあり、特に夏季に体温が上昇することがあるので、本剤投与中は体温の上昇に留意し、このような場合には高温環境下をできるだけ避けること。なお、あらかじめ水分を補給することにより症状が緩和される可能性がある。
トリヘキシフェニジル	アーテン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 抗コリン作用により発汗抑制が起こり、体温調節が困難になるおそれがある。
ハロペリドール	セレネース	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境下にある患者 体温調節中枢を抑制するため、高熱反応が起こるおそれがある。

高温環境で注意する主な医薬品

一般名	主な商品名	記載事項
ピペリデン	アキネトン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 発汗抑制が起こりやすい。
ピペリドレート	ダクチル	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 発汗抑制により体温上昇が起こるおそれがある。
ブチルスコポラミン	ブスコパン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 汗腺分泌を抑制し、体温調節を障害するおそれがある。
フルフェナジン	フルメジン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 体温調節中枢を抑制するため、環境温度に影響されるおそれがある。
プロクロルペラジン	ノバミン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 体温調節中枢を抑制するため、環境温度に影響されるおそれがある。
プロパンテリン	プロ・バンサイン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 発汗抑制が起こり、体温上昇のおそれがある。
プロペリシアジン	ニューレプチル	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 体温調節中枢を抑制するため、環境温度に影響されるおそれがある。
プロムベリドール	プロムベリドール	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境下にある患者 高熱反応が起こるおそれがある。体温調節中枢を抑制するため。
ペルフェナジン	トリラホン、ピーゼット シー	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 体温調節中枢を抑制するため、環境温度に影響されるおそれがある。
メベンゾラート	メベンゾラート	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 汗腺等の分泌機能を抑制するので、体温調節が障害され高熱になるおそれがある。
レボメプロマジン	ヒルナミン、レボトミン	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 体温調節中枢を抑制するため、環境温度に影響されるおそれがある。
ロートエキス	ロートエキス	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 高温環境にある患者 汗腺分泌を抑制し、体温調節を障害するおそれがある。